

実施計画事業名		農業経営分業化・多角化促進事業		評価対象年度	平成 22 年度					
評価担当部署		建設産業部 農政課		課長(主幹)名	相馬 義則					
総合計画体系	分野	5	産業振興							
	政策	1	自然を活用した産業の体質強化							
	施策	2	安全・安心な農畜産物の供給に努めます							
	関連施策									
現状と課題	農業の国際化など将来の不透明さに加え、高齢化や担い手の不足などの理由による農家戸数の減少が続いており、農村地域の活力の低下などの大きな問題が生じている。現在までは、離農跡地を周辺農家へ集積し規模拡大による生産基盤の整備と経営の合理化、機械化による生産コストの低減に努めてきたが、施設投資の拡大など個別経営に限界が生じてきている。									
目的	作業の分業化による農家経営の合理化及び生産効率の向上を支援し、ゆとりある経営を目指す。									
5ヶ年開の	哺育牛を通年受託する施設の整備、育成牛受託施設の拡充及び専門技術者を擁する民間活力による優良な管理体制の確立を図り、牛飼養環境の改善・高能力牛の育成と地域の農業の分業化を推進する。									
成果指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度		
	預託頭数		頭		目標	195,000	218,000	289,000		
	説明	大規模草場で預託を受けた牛の頭数(日単位延頭数)					実績	239,954	280,036	
活動指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度		
	ヘルパー出勤回数		日		目標	3,500	3,500	3,500		
	説明	農休日に伴う出勤日数					実績	3,433	3,636	
	黒毛和牛の導入頭数		頭		目標	3	3	3		
	説明	当該年度に黒毛和牛導入利子補給金を活用して導入した牛の数 ※()内は、当該年度に利子補給(導入時から最長7年間)を行っている対象頭数					実績	0 (54)	0 (54)	
					目標	-	-	-		
	説明						実績			
				目標	-	-	-			
説明						実績				
事業費の実績		単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考				
	直接事業費(A)		千円	115,275	123,706	144,416				
	国庫支出金		千円	0	0	0				
	道支出金		千円	0	0	0				
	起債		千円	0	0	0				
	その他		千円	87,624	102,156	109,875				
	一般財源		千円	27,651	21,550	34,541				
	この事業にかかる職員数		人/年	0.80	1.40	1.40				
人件費(B)		千円	5,541	9,507	9,507					
計(A+B)		千円	120,816	133,213	153,923					
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化									

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 大規模草地管理運営事業については、受入頭数の拡大を行うための施設整備を行った上で、平成21年度から指定管理者制度を導入して行っているが、6ヶ月未満の哺育牛の受入を開始したことなどにより、延預託頭数が前年比約4万頭増の実績をあげ、目標を大きく上回ることができた。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 黒毛和牛導入資金利子補給金事業については、ここ2年間の利用もないが、今しばらく推移を見守りたい。
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 大規模草地管理運営事業について、さらに酪農家に信頼されるよう、飼養管理の内容の充実に努め、預託牛の質の向上に努める必要がある。
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 大規模草地管理運営事業については、受入頭数の増加により経営効率が高まった。今後も預託牛の質の向上を図りながら、農家が安心して預託できる施設運営を行い、農家経営の合理化と生産効率の向上を図っていく。その他一定の役割を終えた事業については、必要な支援が行えるよう、事業の見直しを検討する。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	b	細事業の進め方	b	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--